

ライオンのドラゴンが永眠しました

4月11日早朝に、オスライオン「ドラゴン」が永眠いたしました。



ドラゴンは1991年9月30日に三つ子としておびひろ動物園で生まれ、
兄妹のエルザと共に、暮らしていました。

昨年の夏から歩行に異常が確認され、今月になってからは、歩行が困難になっていました。

治療に努めていましたが、衰弱が著しく、残念ながら死亡にいたりました。残念ながら死亡にいたりました。



ライオンの飼育下での平均寿命は約20年とされているので、
老衰による衰弱死だと思われます。

現在、帯広畜産大学において、詳しい死因を調査中です。

なお、ライオンは現在メスのエルザのみの飼育展示となっています。

兄弟のキングは釧路市動物園で現在も飼育されています。